



冬の花の女王

サザンカ



花言葉は…困難に立ち向かう

理事長 あいさつ



尾崎 義昭

今年には新型コロナウイルスの世界的パンデミックにより、日野市民の皆様も苦しい市民生活が続いてしまっていることと思います。そんな中でも、日野市内の公園や雑木林、街路樹などの木々も紅葉の季節となり、秋から冬支度へと移り変わりを感ずるこの頃となりました。

日野市環境緑化協会は、日野市における都市環境の向上を図るため、都市の緑化を推進し、緑と清流を守り、うるおい豊かな都市づくりに寄与することを目的としている公益財団法人です。緑化協会が行っている事業としては、花壇植付けボランティア団体の募集、花の交流広場、緑化講習会、菊花コンテスト、緑の作文集、緑の写真展、市内の落ち葉からつくる腐葉土・肥料の販売、市内公園や公共施設への花の植付け、市内公園の清掃管理などを行っております。

この「緑のまち」では、当協会の事業を紹介させていただきました。日野市が「緑がうるおい、豊かな都市へと発展すること」を職員一同引き続き目指してまいります。

むすびに、市民の皆様からの当協会へのご協力に書面をお借りしまして御礼申し上げます。

令和元年度 決算

収	基本財産運用益	195,235円
	事業収益	22,987,700円
	受取補助金等	22,856,470円
益	受取寄付金	150,934円
	雑収益	89円
経常収益計		46,190,428円
費用	事業費	40,938,657円
	管理費	5,252,019円
経常費用計		46,190,676円

令和2年度 予算

収	基本財産運用益	150,000円
	事業収益	22,971,000円
	受取補助金等	22,864,000円
益	受取寄付金	1,000円
	雑収益	2,000円
経常収益計		45,988,000円
費用	事業費	40,841,744円
	管理費	5,146,256円
経常費用計		45,988,000円

「事業計画書・予算書」「事業報告書・決算書」については、緑化協会ホームページをご覧ください。また、緑化協会事務所に備え付けてありますので、お気軽にお越しください。

腐葉土・肥料 販売

緑化協会職員が公園の落ち葉を利用して作った腐葉土は、基準に基づき適正に出荷・販売しています。

また（有機）乾燥肥料や（化成）固形肥料も販売していますので、是非ご利用ください。

〈販売場所・時間〉 緑化協会事務所：平日 8:30～17:15

〈価格〉 腐葉土 …… 800円（44ℓ）、400円（20ℓ）、100円（4ℓ）
乾燥肥料 …… 100円（400g）
固形肥料 …… 30円（160g）

*配達については、ご相談ください。

*数に限りがあるので、1回の購入には数量制限があります。ご理解とご協力をお願いします。

役員名簿

（順不同）

任期：令和2年6月18日～令和4年度定時評議員会終結時

理事長	尾崎 義昭
副理事長	国分 知子
常務理事	坂田 勉
理事	志村 進一
理事	宗 昌枝
理事	小笠 俊樹
理事	石坂 昌子
監事	渡辺 良勝
監事	榎本 数隆

任期：令和2年6月18日～令和6年度定時評議員会終結時

評議員	垣内 成剛
評議員	奥住 日出男
評議員	橋本 栄萬
評議員	井上 敏夫
評議員	加納 秀一
評議員	奥住 登



日野中央公園に咲くハナモモ

ハナモモ

花を觀賞するために改良されたモモで、3月中旬から一か月程度、可憐な花を咲かせます。日野市内でも日野中央公園（神明）や北川原公園（石田）に植えられています。まだ数メートル程の若木ですが、春のひとつときは非ご家族ご友人とお楽しみください。

緑の募金

今年も4月～5月を強化月間として取り組んだ「緑の募金」は、東京緑化推進委員会に納入して森林整備等の事業に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内の花壇に四季の花々を植付けるなど、多くの場面で役立っています。

皆さまの御協力ありがとうございました。

令和2年度募金総額（9月末現在）

1,392,514円

緑の募金還元金も利用する花壇



（令和元年 秋花壇：緑化協会前花壇にて）
緑化協会の職員が小さな苗から育てた菊、時には植付け時に「HINO」をデザインするなど、サプライズも…… 🌸🌸🌸

子ども昆虫教室



7月11日（土）、市内小学生を対象に実施しました。
長い梅雨の一瞬の中休みのように日差しが出て、神明野鳥の森公園での昆虫観察や採集を楽しめました。コロナ禍の中、頑張る子どもたちの夏の思い出作りができました。



子ども昆虫教室

庭木の手入れ講習会



10月2日（金）日野緑進会より講師を迎え、庭木の手入れの基礎を学びました。
サンプル枝を使用しての剪定実演はわかりやすく、実践に役立つ情報が盛りだくさんでした。



庭木の手入れ講習会

中止した事業

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の事業を中止させていただきました。

- 4月 緑のリサイクル
- 4～5月 ガーデニングコンテスト&写真展

令和2年度 今後の事業予定

※写真は昨年度のもの

稲わら・竹細工講習会

市内で集めた自然素材の稲わらや竹を使用し、お正月用のミニ門松を作る講習会です。協会職員が作り方を丁寧に指導しますので、お気軽にご参加ください。

開催日 令和2年12月18日(金)
午前・午後の2部開催（各部定員15名）

応募方法：往復はがきに必要事項を明記の上、協会まで送付
応募締切：12月3日（木）必着

※広報ひの11月15日号掲載



緑の写真展

日野市内でお気に入りの風景や、ご自宅できれいに咲いたお花の写真などご出展ください。

テーマ ①日野の四季 ②わが家の緑

募集期間
令和2年11月17日(火)～12月18日(金)

展示期間：令和3年1月5日(火)～15日(金)

展示場所：日野市役所1階市民ホール

※詳細は、広報ひの11月15日号(募集)12月15日号(写真展)掲載
※応募要領は、協会ホームページからダウンロードできます。



緑化講習会

ガーデニングの基礎をしっかりと理解しつつ、日頃の疑問もここで解消！

●春の草花・家庭果樹の管理講習会

開催予定日 令和3年2月5日(金)

※詳細は、広報ひの1月15日号掲載予定

●ガーデニング講習会

開催予定日 令和3年3月5日(金)

※詳細は、広報ひの2月15日号掲載予定



※詳しくは、いずれも協会ホームページをご覧ください。(http://www.hinoryokka.org/)

令和2年度事業実績（その2）

菊花事業のご紹介



日野市の花である「菊」の普及のため、緑化協会では菊花事業に取り組んでいます。春から栽培して増やした菊苗を、一般市民、老人クラブ、市内小学校などに無料配布し、それを育ててもらい、秋の「菊花コンテスト」に出品してもらおうというものです。

毎年多くの方々のご協力のお陰で、美しく咲いた菊たちに出会える事に感謝し、ここに事業の内容をご紹介します。

菊の育て方講習会

配布に先立ち、日野市菊友会より講師を招き、7月17日に「大菊の育て方講習会」、8月7日に「ポットマムとスプレー菊の育て方講習会」を実施しました。

植付け方や水やりのコツ、病害虫の予防など詳しく教えていただき、大菊の講習会では、菊花コンテスト出品用の苗の配布も行いました。



ポットマム・スプレー菊苗の無料配布

春から栽培した親苗を、「挿し芽」という方法で増やし、8月19日（水）に老人クラブ、22日（土）に一般市民、26日（水）には、市内の小学校や施設に、合計約6,000本と育て方のテキストを配布しました。

菊花コンテスト

展示期間 令和2年10月30日（金）～11月11日（水）

配布先別に、市民一般の部、老人クラブの部、小学校の部の3部門で募集し、10月30日（金）の審査で、下記の入賞者を決定しました。また、11月11日（水）に生活・保健センター集会室にて表彰式も行いました。



市民一般の部 市長賞



老人クラブの部 市長賞



小学校の部 市長賞



審査風景

令和2年度 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧

(敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	岡部 清枝	田中 弘	該当なし	中部長生会	該当なし	旭が丘小学校
日野市議会議長賞	阿川 勉	船木ます子		川北クラブ	川北クラブ	滝合小学校
日野市教育委員会 教育長賞						第六小学校
(公財)日野市環境 緑化協会理事長賞	天野 正次	小林 治郎	本吉 隆志	豊寿会		第七小学校
日野市老人クラブ 連合会会長賞				親和会		
日野市菊友会会長賞	山鼻 茂子	菊地 邦雄				
東京南農業協同組合 代表理事組合長賞	前沢扶久子	峯岸 恵子		久和の美会		

応募総数

- 市民一般の部
16名 25鉢
- 老人クラブの部
10団体 100鉢
- 小学校の部
11校 110鉢



日野の花壇・プランターのご紹介

最終回



緑化協会が担当している日野市内の花壇やプランターを3年にわたりご紹介させていただきましたが、今回で最終回となります!! 花壇用のお花は業者から購入したものと緑化協会の職員が育てたものがあります。職員たちが育てているお花をご紹介します。夏花壇はペゴニア・マリーゴールド・コリウス、秋花壇は赤白黄のカサギク、冬花壇は赤白のハボタン、春花壇はノースポールです。種から育てたり、小さな苗から育てたりしていますが、きれいなお花に育てるために、水やり、肥料、消毒など、お花を常に観察しながら、毎日のお世話を欠かさず頑張っています。職員全員で手間暇かけて一生懸命育て上げたお花たちを見て楽しんでいただけたらと思います。

皆さんもお部屋で玄関でお庭でベランダで、お花のある生活を楽しんでくださいね!!



今熊公園	鹿島台ふれあい広場	生活・保健センター	防災センター	七生中学校
京王線高幡不動駅から徒歩13分。北野街道沿いを少し入った南平3丁目の住宅街の中にある公園です。花壇は1面あります。	京王線高幡不動駅から徒歩11分。高幡不動尊が近くにあり、今熊公園へも徒歩5分で行ける距離にあります。花壇が2面あります。	日野第一小学校のすぐ近くにある日野市役所健康課、地域協働課、国際交流協会、消費生活センター等の建物です。入口正面付近に13基のプランターがずらりと並んでいます。	日野市役所(本庁)のすぐ近くにある日野神明郵便局の隣辺りにあります。入口正面に2基のプランターが設置されています。	七生中学校南側に面した道路のフェンス沿いに設置された細長い花壇です。七生中学校の生徒さんが登下校中に見てくれているでしょうか?
三沢台花壇	豊田団地	日野宿本陣	新選組のふるさと歴史館	新町交流センター
京王線百草園駅から徒歩で約15分。川崎街道の三沢の信号交差点を左折した坂道の途中にあります。すぐ近くには神明谷戸公園があります。	J R中央線豊田駅から車で約10分のところにある、住宅街に囲まれた花壇です。三角形に植栽された低木の端と端に2面の花壇があります。	J R中央線日野駅から徒歩10分。プランターにさりげなく植えられた花達は、観光に来られた方々をお出迎えしています。	J R中央線日野駅から徒歩15分。(公財)日野市環境緑化協会と印字された丸いプランターが2基設置されています。	J R中央線日野駅から徒歩5分。緑化協会からお配りしたお花を職員の方にプランターへ植付けてもらっています。
日野台高校	百草台自然公園	高幡台団地	多摩平第7公園	中央図書館
日野台高校西側の正門前の道路を渡ったところに花壇があります。低木があり少し見えづらいかもしれませんが、ご覧ください!	七生緑小学校の隣にある公園です。公園入口の両脇と公園内に大きめの花壇が設置されています。チューリップが咲く春頃に特に素敵です。	京王線高幡不動駅から徒歩15分。団地内に花壇が6面あります。植付けられた花は大変見応えがあり、団地の方々に楽しんでもらっています。	JR中央線豊田駅北口から徒歩6分。富士電機やイオンモール多摩平の森の近くにある公園です。公園内に1面の花壇があります。	JR中央線豊田駅南口から徒歩6分。玄関付近のプランターに植付けられ、職員の方の水やりのおかげで元気に咲いています。
大坂上中学校	ハケ下公園	旭が丘中央公園	<p>市民ボランティア募集中!! お花に興味がある方、日野市内の公園等の植付けにご協力頂けませんか?</p> <p>緑化協会では季節ごとに公園や駅など沢山の公共施設の花壇やプランターにお花を植付けています。植付けや水やり、草取りをお手伝いしてくださる方をお待ちしております。花卉は緑化協会でご支給します。植付け場所や時期などお気軽にご相談ください!!</p> <p>☎ 585-4740</p>	
正門前に花壇はあります。生徒たちの元気に頑張る姿を応援し、見守っているようです。毎日お花を見て、清々しい気持ちになってほしいです。	京王線平山城址公園駅から徒歩15分です。公園からJ R東日本豊田車庫が見えます。花壇が1面あります。	JR中央線豊田駅北口より徒歩12分。公園内にある大きな時計台の下にあるレンガで出来た5角形の花壇です。日野中央公園にもこれによく似た時計台のレンガ花壇があります。		

作文集「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に募集した作文に二、〇四一名の児童から応募がありました。

この中から今年も七名の審査委員により入選作一〇〇編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員長の講評を掲載します。

「マルちゃん」 つむぎ生きるまち

日野第六小学校

四年四組 白井 琳子

私の家には、毎年十一月くらいから三月くらいにかけてヒヨドリがやってきます。

去年から今年にかけては、二羽のヒヨドリが毎日来ていました。そのうちの二羽は、少し太っていたから「マルちゃん」、もう一羽は、あまり特ちょうがないので「ヒヨちゃん」という名前をつけて、庭にやってくるの

を楽しみにしていました。

マルちゃんもヒヨちゃんも、くりくりした愛らしい目でときどきこつちを見ながら、キンカンを一生けん命食べていて、とてもかわいいです。私は、この様子を見て、ヒヨドリは、くだ物が好きなんだと思いました。けれども、ほかにどんなものを食べているのかなと思ってヒヨドリのことを調べてみると、ヒヨドリが農作物を食いあらずがいじゅうとして知られていることがわかりました。

私は、マルちゃんやヒヨちゃんが、農家さんたちが大切に育てた農作物を食べていないか、

心配になりました。私の学校では、日野市の農家さんが育てた野菜などが給食に出ますが、その農家さんたちの畑をマルちゃんたちが食いあらしている様子が目につくのでしたのです。私が好きな日野市の野菜は、小松菜やトマトです。日野市の野菜がおいしいのは、農家さんたちが大切に育てたからおいしいんじゃないかな、と思います。こんなふうに大切に育てた野菜をヒヨドリが食べてしまったら、農家さんたちも悲しくなるだろうし、私も悲しいです。



米作りを通して 感じたこと

潤徳小学校

六年二組 小野寺由紗

私たちの住んでいる日野市は自然が豊かです。私の家の近くには田んぼがあり、潤徳小学校では毎年五年生が授業で米作りをします。初め私は、米作りについて全然知らなかったので、米作りは驚きの連続でした。

例えば、田んぼには種もみをまかずに、種もみがある程度成長して、苗になってから植えなければならぬし、田んぼには案山子を立てることですずめからお米を守るのです。いつも食卓に並んでいるお米は、見えなるところで、一年間、手間暇かけてようやくできることを初めて知りました。

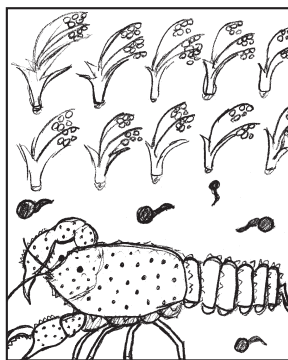
また、田んぼは生き物がたくさん生息しています。田植え中や付近の用水路などで、カエルやザリガニ、オタマジャクシやアメンボもいて、虫が苦手だった私でしたが、虫たちがかわいく見えてきました。そういう意味でも田植えはとても貴重な体験でした。米作りは、人と自然の接点だと思いました。米作り

の授業を通して、自然と触れ合い、自然の大切さを学ぶことができました。

ところで、私が米作りをした田んぼは、姉が米作りをした田んぼとは別の場所でした。昔、姉が米作りをした田んぼは、宅地化され、田んぼではなくなっていました。もしかしら私が米作りをした田んぼも数年後には宅地化され、田んぼとして使えなくなっているかもしれません。

私は、授業の米作りを通して、その大変さと共に自然と触れ合うことができました。

しかし、田んぼの宅地化がこれからも進み続ければ、それに伴って生き物の数も減ってしまい、私達小学生が米作りや、自然との接点も奪われてしまい、自然の大切さに気付かないかもしれません。自然を身近に感じ、日野市の自然を守るためにも、この米作りの教育は、未来に残していきたいです。



緑を守れる人達へ

日野第五小学校

六年三組 星野 燈

「今日遊べる人公園に来てー。」
私達は常日頃から声を掛け合っ
て「多摩平第一公園」で遊んで
いる。

この公園は広く、老若男女問
わずにいられるような場所だ。
まず、私たちが遊んでいるスペー
スは遊具が多く、校庭みたいな
広場となっている。ここの遊具
は小さい子たちや私たちのよう
な高学年も遊べ、配置がちよう
ど良い。次に、グラウンドと呼ば
れる原っぱだ。グラウンドは私た
ちくらいの年齢の少年が、野球
やサッカーの練習をするだけで
なく、家族連れでピクニックも
できる所となっている。他にも
高齢の方もゆったりできる散歩
コースもあり、公園はいつも年
齢問わず賑わっている。それを
支えているのが緑の豊かさだと
思う。この公園の人気の理由は
緑がちゃんと手入れされていて
どこのスペースにも緑があり、
かつ、遊びやすくしていること
だと思う。

このような公園の良さが、何

年も保たれているのは裏で大人
が緑を支えてくれているからだ。
私は、この中の一人のおじさん
を知っている。おじさんは夜に
掃除やごみ拾い、更には落書き
消しをやってくれている。おじ
さんに、

「何故夜なんですか。」

と聞いたら、

「みんながいる昼間に堂々とや
るよりも、夜に陰でやる方がみ
んなの邪魔にならないからだよ。
それにカッコいいしね。」

と笑って答えてくれた。

このような人たちが公園の緑
や清潔を守ってくれているから、
緑豊かな公園の良さを保ってい
ることができると思った。だか
ら私は、このような人たちのよ
うに緑を守れる人になりたい。
その為に、ここの良さを自分た
ちで示す等、子供たちでもでき
ることを編み出し、自分でもこ
なし、その方法を人々に伝え、
緑を守れる人が増えていけばな
と思う。



「緑のまち」に凝縮された思い

審査委員長

日野市立潤徳小学校校長 竹山 弘志

日野市環境緑化協会主催
の作文集「緑のまち」に、
今年度は日野市内十七校の
四年生と六年生が、二千四
十一点の作品を寄せてくれ
ました。新型コロナウイルス
の影響で、例年より短い
夏休みでしたが、その間に、
日野市の緑や環境問題など
について真剣に考え、作文
にしてくれたことに感謝い
たします。審査委員七名は、
応募作品を丁寧に読ませて
いただき、作文集「緑のま
ち」に掲載する作文を選出
しました。

この作文集の大きなテー
マは、「緑のまち」です。
日野市の自然や身近に棲息
している小動物・淡水魚な
どについて、子供らしい感
覚や感性で見つめて思った
ことなどが記されています。

また、日野市の環境問
題をどのようにとらえ、将
来のまちづくりについての
願いを抱いているのかな
ど、児童の思いや考えをた
くさん知ることができまし
た。私は、児童の皆さんが、
日野市の丘陵や河川、用水、
公園、樹木、草花、鳥、魚、
虫、空気、歴史等に直接或
間接に触れ、様々な自然体験や
農業体験、清掃活動などに
関わったりする機会をた
くさんもっていることにも
驚きました。そのことで、
日野市は豊かな自然に恵ま
れ、身近な所で自然体験が
できるまちであることも確
認できました。今年の七月
に、一年生の児童が学校の
敷地内でタマムシを捕まえ

て、私に見せてくれました。
生きているタマムシを手
取ってじっくり見たのは、
五十年ぶりくらいです。私
は、その美しさと身近な所
にタマムシがいたことにと
ても感動しました。児童が
「これは、ヤマトタマムシ
だよ。」と教えてくれました
。また、吉丁虫とも呼ば
れ、幸運を知らせる虫であ
ることを知り、大変うれし
く思いました。

結びに、この作文集「緑
のまち」が、多くの皆様に
お読みいただけることを願
うとともに、児童が作文を
応募するにあたりご協力が
いただきました保護者、学校
の先生方、関係者の皆様方
に厚く御礼申し上げます。

みはらし公園



多摩動物園に隣接し、高台の住宅街の一角にあるとにかく眺望が素晴らしい公園です。公園内のベンチからの景色も最高で、ここから更に階段を登るとかたらいの路や南平丘陵散策コースに繋がっており、樹々等に遮られることなく八王子から立川方面まで約180度に広がる空と景色を楽しむことが出来ます。晴れた日には富士山を眺めることが出来、ダイヤモンド富士を見に来られる方や夜景観賞を楽しみに来られる方もおられるそうです。

この公園を長年に亘り清掃して下さっているのは、この近くにお住まいの自治会メンバーです。公園愛護会として活動を開始された当時は自治会の役員メンバーで構成されていたそうです。現在はその当時の方は一人もいらっしゃらないとのことですが、みはらし公園はみなみが丘自治会の地域のメンバーで清掃していきましょう！という考えを継承されているそうです。メンバーが減少し5,6年前に辞めようかという話も出たことがあったようですが、少しずつ前向きに頑張っているうちに、今年度から数人の女性方が入会、そして愛護会唯一の男性も入会され、会員が倍になったことで清掃が以前より短時間で片付くようになり、男性に剪定作業等お願いするとササっとこなしてくれると喜んでおられました。月2回の清掃は地域の情報交換など様々な会話を通じて良いコミュニケーションの場となっているそうです。和気あいあいととても賑やかで、私も愛護会の一員だったかと思うほどの和やかな空気で包んでいただきました。「今まで続けてきてよかったです。」これは15年程取りまとめをしてくださっている方の言葉です。長年清掃されているからその深みのある言葉で、大変印象深く、とても素敵だなと思いました。



大久保公園

公

実践女子大学日野キャンパスの南側に位置し、東側の崖下を走る中央線を上から眺められるスポットです。

桜などの大木が多く植栽されている割に、見通しと風通しが良く、通りかかったら思わず「ちょっと寄って行こうかな」という気分になる公園です。



地域の方たちのふれあいの場としても重宝されていて、春のお花見、夏は地域のお祭りやイベント、秋は近隣の施設の運動会など笑い声や笑顔の絶えない場所になっています。

この公園は、近隣の自治会の有志のみなさんが、清掃や除草、側溝掃除から遊具の点検などを行っていて、活動を始めたのはなんと30年以上も前の事で、そこから自然にバトンを受け継ぎ、現在に至るそうです。

園

園

介

夏の盛りの除草、秋冬の落ち葉掃き、台風の後の清掃など、決して楽ではないと思いますが、「地域の先輩方に可愛がっていただいたので、恩返しに」とむしろ和気あいあいと楽しそうに活動されているのがとても印象に残りました。

また、民生委員の方もメンバーの一員で、困ったことなど気軽に相談できたり、安否確認の場にもなっているそうです。

子どもの頃に日が暮れるまで駆け回った公園、家族でお花見に来た思い出の公園、少し時間ができてのんびり日向ぼっこした公園、など、自分でも気がつかないうちに、思い出が増えていくのが地域の公園ですが、ここ大久保公園は、長い間いつも優しい目で見守られていてとてもうらやましく、またそんな公園作りに貢献してくださるみなさんに感謝の気持ちで溢れた初秋の一日となりました。



取材日記

私たちが公園紹介の取材をさせていただくようになって3年が経ちました。毎年、少し緊張しながら公園に向かうのですが、皆さんの優しい笑顔に出会うとホッとした気持ちになります。取材は残暑の頃、公園の環境は、ものすごい暑さ、湿気、そして蚊等の虫の攻撃など過酷な中で頑張っておられることを身をもって体験しました。活動の中で嬉しかったこと苦労されていること等お話を伺いながら、人とのつながりの重要性、公園を美しく保つことや愛護会活動を継続していくことの大変さ等様々なことを学ばせていただくようになりました。事務所の中でゴミの報告をお受けする時、取材させていただくようになってからは皆さんの頑張っている姿が目に見え、更に感謝の気持ちがうまれ、やはり現場の様子を知ることは大切だと実感するようになりました。同じ目的に向かって積極的に地域貢献に取り組むことは本当に素晴らしいことだと思います。私も将来皆さんのようになりたいです！地域貢献をして下さっているすべての皆さま、心から感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記



これまでの日常が音を立てて崩れた今年、自分にとって必要な『事・物・人』を改めて実感した場面も多かった様な気がする。見えない敵と戦いながら、自分の周りに目を凝らすと…遙か彼方の宇宙に瞬く土星の環のように、自分の日常を幾重にも支えてくれる存在があった。医療現場や文化も然りだ！

緑化協会もまた人々の日常に僅かな癒しをお届けできる存在になりたい。明るく未来のために！

【K・A】

表紙のはなし『サザンカ』



サザンカは漢字で書くと「山茶花」。開花時期は10月から年明けぐらいまでの冬を代表する花です。童謡や歌謡曲にもしばしば登場し、日野市と縁が深い巽聖歌の「たきび」の二番♪「サザンカ、サザンカ、咲いた道……」は誰もが口ずさめる歌詞です。



コロナ禍がなかなか収まらない昨今ですが、寒さの中で凛と咲くサザンカの花を見に公園に出かけてみませんか。

(表紙は市民の森スポーツ公園)

【T・S】